京城新報

●新聞料 ▲一部二錢 ▲一ケ月前金… ●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金三十錢 ●陰暦 四月二十七日
發行兼編輯人 印刷人 秋山忠三郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番

暴徒の經濟上に及ぼしたる影響（概要）

全南に於ける暴徒は昨年四月下旬綾州同福方面に起り其後中絶の姿なりしが九月中旬長城の淳昌方面に蜂起して以來漸次區域を擴張し今や全南に瀰漫し現今平靜なる地は木浦を中心として東南七、八里、北方六、七里の地と各地に散在する守備兵の存する一小區域に過ぎざるの情況に陥れり試に昨年十二月以降暴徒に依る甚なる被害地を擧ぐれば左の如し

十二月八日	靈光郡	法聖浦
同 二十三日	同	リウリャウ面
一月三日	咸平郡	咸平邑
同 九日	光州郡	トウフ面
同 十日	同	馬池面
同 十六日	羅州郡	古樓院
同 廿二日	咸平郡	咸平邑（再襲）
二月十五日	綾州郡	虎岩面
三月六日	同	懷德面
同 十四日	靈光郡	南山面
同 二十日	長城郡	南山面 月岩里
同 二十日	康津郡	喩川面
同 二十九日	光州郡	所旨面
四月六日	寶城郡	寶城邑
同 七日	靈光郡	森南面
同 二十七日	羅州郡	竹浦
同 二十九日	和順郡	和順邑
五月二日	寶城郡	文田面

其他韓人の小損害及當地に傳はらずして止みたるもの等算し來れば實に枚擧に遑あらざる也

以上の如くなるを以て内地との交通を妨げ前年の農作豐饒なりしに拘らず暴徒蜂起以來廻穀微々として振はず例年に比し多額の減退を示すに至れり左に參考に資せんが爲めに廻穀高を示せば

品名		一月	二月	三月	四月
米	卅九年	二、五一九	九、六八九	一五、一四四	二、三二〇
	四十年	一六、五四〇	七、六五〇	六、三二四	四、六八一
	四十一年	五、四九九	三、七六六	一一、四〇三	一、〇四七
籾	卅九年	八、八八八	六、八四八	一一、八二四	八、三二七
	四十年	三五、八六一	三、〇五三	一、四〇二	九、七六九
	四十一年	二九、六九九	二、一三三	七、三三〇	七、六七五
雜穀	卅九年	四〇二	七二〇	七二六	九四五
	四十年	一、八〇三	一、五一七	一、二八八	五〇
	四十一年	八〇四	一八七	六八	二二一

品名		五月	六月	七月	八月
米	卅九年	五、四九二	六、三七七	八六二	二〇
	四十年	二、二五七	二、九七四	九四四	二、三三三
	四十一年	ー	ー	ー	ー
籾	卅九年	五、七三五	三、三六〇	三、七七六	三、〇二三
	四十年	六、七三四	八、四〇二	六、四〇七	一五、〇三三
	四十一年	ー	ー	ー	ー
雜穀	卅九年	二六八	二	一四〇	九
	四十年	九	一		一六〇
	四十一年	ー	ー	ー	ー

品名		九月	十月	十一月	十二月
米	卅九年	三、七四〇	九八二	四、四八六	六、三三五
	四十年	三、五〇三	九七三	二、一五五	四、六二〇
	四十一年	ー	ー	ー	ー
籾	卅九年	四、〇三七	六、九三三	一七、四二七	一八、四六八
	四十年	四、〇六六	五、八六〇	一、七八〇	一七、一四五
	四十一年	ー	ー	ー	ー
雜穀	卅九年	八六	一六三	九三二	二、五三五
	四十年	一、一二〇	二四	三二〇	一、七二三
	四十一年	ー	ー	ー	ー

備考 本表は木浦穀物商組合の調査に依る籾の一俵は韓俵にして約八斗入なり

而して更に輸出入貿易を税關の統計に徴するに昨年十月以降本年三月に至る六箇月間と其前年同季節即ち三十九年十月より昨年三月に至る期間とを比較するに輸出二十六萬三千三百六十九圓を減じ輸入二十五萬二千九百十九圓を増加し再輸出高亦八千六百〇三圓を増額せるを以て大体に於ける此期間の貿易は前年に比し大なる遜色なしと雖も輸出貿易の不振は一に暴徒の横行に依り交通を妨げたるを以て農民は爲めに收獲物を積んで徒らに庫裡に藏するの已むなきに至らしめたるもの也

次に輸入増加に就て考査するに綿糸綿布酒類煙草陶器鐵器食料品等何れも著しき増加にして建築原料なる銅、鐵、錫等の金屬類は前年と大同小異の内にありて捗々敷進捗を認めず之を要するに邦人の増加は其需要を大ならしめたるものあるべしと雖も最も近來韓人の嗜好漸次向上したると同時に韓人の外國品を需要する區域年一年廣く且つ深からしめたるの結果に依れりと斷ずるを得べし

●暴徒に關係なき時期●

區別	三十九年第四季自十月至三月	四十年第一季自一月至三月	計
輸出	三五四、四八九	五〇四、〇三九	八九九、〇二八
輸入	三三二、八三三	三〇八、五八七	六四〇、五一九
再輸出	四、六〇七	二、七六三	七、三七〇
計	七二一、〇二六	八一五、四九〇	一、五四六、九一七

●暴徒蜂起後●

區別	四十年第四季自十月至十二月	四十一年第一季自一月至三月	計
輸出	二九六、七三五	三三九、〇三四	六三五、七六九
輸入	四九三、一七三	四二〇、六六五	八九三、四二八
再輸出	八、六〇四	七、三四五	一五、九四九
計	七八八、一二六	七六七、〇六四	一、五四五、一九〇

麥稈眞田と韓農家（續）

玆に農家の爲めに麥稈刈入及び摘取の方法を説明せん

一、普通麥の刈入時より十日乃至十二日前に刈入をなすべし此は少しく早く刈入るゝ時は稈の光澤良好なるがためにして早く刈り入るゝがために麥質の主成分の異ならざるのみならず收獲高の減ずるが如き事なく寧ろ少しく早く刈入るゝ方品質良好なり

二、刈入れたる時は直ちに其の場所に布列して充分に乾燥せしむべし此は稈に水分を含める時は腐敗するを以てなり

三、打麥をなすには右の乾燥したるものを一握り結束して稈（第一節以上）の破傷せざる樣穗を取り去るべし此は打麥の際稈を破傷する時は麥稈として價値を失ふを以てなり

四、穗先きを打取りたる麥稈を保存するには充分に日光に乾すか又は硫黄にて薰蒸すべし此は稈に水分を含める時は稈に斑點を生じ用をなさゞるに至るを以てなり

五、穗を打取りたる藁の穗に近き第一節を剪刀又は爪先にて切り去り（節の根元より）能く揃へて結束し置くべし此は節の根元より摘み取りたるものに非ざれば麥稈として價値を失ふを以て注意すべし

六、外皮は右の麥稈を布列して日光に能く乾燥せしむる時は容易に脱去するを得

七、麥稈は摘み取りたる後と雖も勉めて水氣無き處を擇び保存すべし

●麥稈摘み取りの利益● 麥稈として摘取するものは穗先きの第一節以上のみなれば百貫匁の麥藁より僅かに七貫匁乃至十貫匁以内を採るに過ぎず故に燃料には別に缺乏を來す憂なくして其の摘取せる處の品は上等品一斤價金二十八錢中等品一斤二十錢下等品と雖も一斤十六錢の相場を有するものなれば今假りに摘取り斤數を平均八貫五百匁とし價格を一斤平均二十二錢とせば實に百貫匁の藁に對し十一圓六十六錢を得るなり以て其の利益の大なる事を知るべし

●麥稈眞田編紐の利益● 眞田の編方は頗る簡易にして婦女老幼と最も容易に習得する事を得少しく編習せば一日一反（麥稈約四十匁を編みたるものにして長さ十四丈弱）以上を編み得るものにして其の賃金一日三十錢以上を得るに難からず故に農家に於ては麥作刈入時に刈取りをなし置き順次穗先きを摘み取り農事閑隙の期殊に冬季等に於て本業に從事せば麥の收獲高の幾十倍の收得難きに非ず

●韓國と關東州鹽

韓國殊にその北韓地方なる平安黄海兩道には海岸線の警備猶ほ不十分なる結果として清國山東省鹽の密輸入今に其の跡を絶たざる事なるが之と共に昨年來我が租借地たる關東州内の製鹽即ち關東州鹽の輸入漸く多きを加へ其の販路も逐次擴張せられつゝありて現に鎭南浦より平壤その他に關東州鹽の輸入を見ること漸く多からんとするの傾向あり而して最近鎭南浦における關東州鹽と山東省鹽との價格を比較するに關東州鹽は一石の原價二圓、稅一圓、運賃一圓、合計四圓にして山東省鹽は一石の原價二圓、稅金四圓六十錢、運賃二圓、合計八圓六十錢なれば殆ど倍額以上の差異あり加ふるに清韓製鹽業は近來燃料の騰貴と内地産金賦課等の關係より漸次に衰頽を來たし其の産出額の如き辛ふじて消費額の半ばに過ぎざる狀態に在りといへば彼の密輸入に對し今後嚴重に取締りをなすに於ては山東省鹽が到底關東州鹽の敵にあらざること最も分明の事實にして現今に於てさへ關東州鹽は前記の如く益々販路を擴張しつゝあるを以て山東省鹽の密輸入だに充分取締りを得ば其の需要の頗に增進せんこと秋毫も疑ひを容るべきにあらずと云ふ者あり

小説 新不如歸（二十）

篠原嶺葉著

益々調子に乘り、西脇が顔色を早くも見て取つて足柄は、

「さあ、早く返答せんか、默つて居ちや分らんぢやないか……何程貴樣が口頭で誤魔化さうと思つても、こればかりや言譯が出來んだらう、出來るなら立派に爲て見ろ。」

重大の秘密を他人に覺られたかと思へば、西脇は如何にも殘念さうな顔色で、言葉はなくて太息を洩らすのである。

足柄は赤毛交りの髭を悠々と弄り、傲とする程鋭い眼で冷に見遣りながら、

「大層憎さうな顔するぢやないか、何も貴樣の身に覺がないものなら、立派に言譯せんか。」

「……」

「言譯は出來んのか、出來んなら俺が詳しい事を聞かして遣らうか。」

と、睨むが如く瞶めながら、

「貴樣太い事爲やがつたな、此の畜生奴……」

西脇は思はず足柄の顔を見上げて。

「畜生だ。」

「畜生と云つたが奈何した、腸の腐つた貴樣でも腹が立つか、黄金と云ふ餌を貰つて他國のために働く奴を犬と云ふのだ、畜生と云つたが何が不思議だ。」

「では僕が犬になつたと云ふのか。」

「……」

「では犬になつた覺はないと云ふのか。」

「犬にならんものが、病氣と云つて旅行し、髭を落して漁人の姿に化て見たり他國の軍人と場所もあらうに、須磨の浦邊なんかで密會する必要が何である、これでもまだ犬になつた覺は無いと云ふか。」

「……」

「こら西脇、貴樣は大日本帝國の名譽ある軍人と云ふを忘れたか、殊に貴樣の親父は何のために自殺したと云ふ事を忘れたか、露國のために遼東半島を清國に還付したと云ふので、それを憤慨した余り自殺爲たぢやないか、其の子と生れながら親の敵とも云ふべき露國のために、何程金子が欲しいからつて、軍事の秘密を知らせると云ふは何と云ふ空氣者だ、貴樣のやうな奴を日本の軍人として生して於ては、陸軍全体の面汚しだ、速に俺の目前で自殺しろ。」

「……」

「自殺するのは可厭と言ふのか、いくら可厭でも遁かれ遁かれ、俺が事實を爆露すりや貴樣の首は胴に着いちや居ないぞそれよりか潔く自殺した方が貴樣の爲なり家の爲だぞ、それでもまた自殺するのは可厭なんか。」

先の程から一言の辭も出さず、默然として打沈むで居た西脇は、此時漸く口を開き

「それぢや君は、僕が自殺爲ながつたら、事實を訐いて銃刑に處さうと云ふのだね。」

と、足柄は暫く思慮た後。

「うりや分らん、貴樣の秘密を知つてるのは俺ばかりだから、生殺の權は俺の胸中にあることだ、貴樣の精神一つぢや緘默するかも知れず、或は進むで訐くかも知れん。」

「僕の精神一つと言ふは、奈何すれば宜いのだ、若も君が緘默して下れるなら、如何なる事でも罾ひを爲やう、それとも又君が飽まで訐くと言ふなら、僕は僕だけの決心がある。」

と、窮鼠猫を食むの勢をもつて、暗に決心を示した。

京城新報

男兒的政策

世評の如何を顧ず、如何なる障害をも排除して所信を斷行するの人は、其成跡の良否に係らず偉大なる人物なり、斯の如き人物にして始て國家の大事を托するに足る、殊もすれば列國の鼻息を窺ふて所信を斷行するに躊躇し、些細の反抗を受くれば翻然として所信を放擲するが如き政治家は、到底大事を托するに足らざるのみならず、虎視耽々たる列强の間に處して國是を牢持し逐行し得らるゝ者にあらざるなり。鐵血宰相と呼ばれたる故ビスマルクの偉なりし所以を見ずや、佛國と戰ひ勝ち講和談判を巴里に開く、佛國の名士チエルが涙を吞で其寛容を哀請す、此時に於て列國の同情は佛國の一身に集る、然れどもビスマルクの眼中には英露なく況や其他の邦國をや、斷々乎としてチエルの哀請を斥け一歩も假借する所なかりき、露土戰爭に於ける伯林會議に露國の全權委員を出拔きたるが如き所信の斷行に勇なる余輩は史を讀む毎に讃嘆の聲を放たざるなきなり、我國に於ける近世の人物にて井伊直弼、大久保利通の如きも、所信の斷行に勇なる偉人なり、幕末紛亂の如き間に處して能く海內の不和を排し外人をして隙に乘ぜしむる能はざりしは惟に直弼の果斷に據る所多かりき、維新の後に於ては大久保卿の雄斷に依り長足の發達をなしたることは、猶ほ世人の記憶に新なる所なり。

近く米國大統領ルーズベルト氏の行動なる、堅確なる所信を牢として逐行するの雄姿は、傍觀者をして思はず快哉を叫ばしむ、彼の駐獨大使任命の如きを見よ、獨帝がヒル氏の資產なきを以て拒まんとするや、ルーズベルト氏は昂然として拒否し乃ち合衆國の使節を遣外する以上國交を保たむのみ、虛飾虛禮の如きは斷じて避る所なりとて更に聽せず、流石の獨帝も之に折る能はずして止む、其他トラスト征伐の如き、太平洋回航艦隊の如き頗る難色を覺ゆるも斷乎として敢行す、斷じて行へば鬼神も避くと、余輩は此等偉人の行動に鑑て固に妙諦たるを感ぜんばあらず、余輩は是等斯くの如き果斷の政策を男兒的政策と云ふ、我が當局者の政策が常に此反對に奔りて往々機宜を失するの感なくんばあらず、所信斷行の勇を缺く所あらざる乎、今にして悟る所なくんば悔ゆるの時近きに來るべしと思はざる乎、余輩は斷じて帝國の對韓政策に警告せんと欲す、猛省せらるゝを得ば幸也

●漢城便り

一時立消の姿なりし日韓關稅同盟問題は此頃又々識者の口頭に上り候樣相成申候某團體は見る所ありて本問題に關する積極的調査に取掛りたりとの事に御座候本問題に對する韓國統監の態度は是非共改めさせ度ものに有之候

▲己に東洋拓殖の爲に盡したりし伊藤公が關稅同盟にも盡すべきは理に於て可然所と存候、何となれば內地を市場とする東洋拓殖の事業は關稅の撤廢を俟つて始めて成効するものなるが故に御座候

▲殖民地首府の物價は其本國首府の物價以上に登らざるが通則なりとの事に御座候例せばハノイはパリーより高からずマニラはニユーヨークより高からずカルカツタはロンドンよりバダビヤはヘーグよりアバヤはベルリンより高からざるが如きものなりとの事に御座候而るに不思儀にも我京城の物價は東京大阪に比して一般に高き方に有之候右に關して統監府經濟家の御高說聞かまほしく候

▲第一銀行券の行渡らざる所は保護政治の未だ及ばざる所に有之候北韓の或部分の如きは一般券を顧みずして却て露貨を歡迎するが如き事有之候度支先に發令して露貨の授受を禁じたるも今に到て其效なきは惜かはれざる證據に御座候

東京電報

▲渡韓憲兵募集

陸軍にては今回豫後備兵より憲兵五百を募り韓國に派遣する事となせり（二十五日午後發）

雜報

●觀察使會議（第二日）

昨廿五日午前十時開會十三道各觀察使及各部次官出席し李總理大臣宋農商工部大臣任內部大臣木內次官內部三局長同書記官出席任大臣は議長席に木內次官は副議長席に就き昨報諮問事項第二の議事に入り木內次官は先づ起つて本議題に付演述する所ありて觀察使漢城府尹交る〳〵一進會、大韓協會、東亞開進教育會、大東學會其他の政社の現況及び一般人民に對する感情並に將來に對する各自の意見を陳述し正午休憩の後開會午前に引續き議する所あり四時散會せり尚明日は午前十時より開會諮問事項に就き審議する筈なり

●林業事務所長會議

平壤大邱水原京城の四林業事務所長は本日農商工部に參集し向ふ三日間林業に關する事務打合のため會議を催せり

●參與官會議

昨日午前十時より統監府樓上に於て各參與官列席し定例會議を開けり

●太皇帝の下賜金

中署管內壽洞京城孤兒院家屋は目下壞敗に傾き風雨に任せある處太皇帝の御聞に達し廿五日承寧府總管趙某を差遣され修繕費として金二百圓を御下賜相成たり

●林業事務所增設の必要

森林法及び其の附屬法令發布せられ地方森林原野に關し督監調査を要すべき事務夥多なるにも拘らず現今は此れを管理する地方官廳としては京城、平壤、大邱、水原の四林業事務所あるのみにして此の四地方以外の事務に關しては一々農商工部より出張せざる可らずために多くの旅費を要するのみならず各地方よりの出張に關する實地調査の如き非常なる長時日を要し且森林盜伐其の他の監督も不行屆にして新法令の目的を達する上に不便少からず故に少くとも各道に一個所宛の林業事務所を設くる必要あり當局者に於て此の希望を有するも本年度は豫算に限りありて到底此れを實行するを得ず來年度に於て數個所の增設をなす方針なりと云ふ

●墳墓取締の必要

韓國の地方を旅行せし者は其の到る處土饅頭の墳墓の多くして而かも其の位置は產業利用上好適なる場所を占むるを見て韓國に於て墳墓の取締に關しては刑法大全中葬埋違犯律に京城十里（韓里）內、各地方官舍地界內、陵園墓界限內、胎室（皇族後產埋沒地）界限內、各所封山先賢墳墓界限內、有主墳墓限界內、人家五千步內に葬埋するを得ざるの規定あるの外近く制定せられたる森林法中に他人の森林原野に葬埋せんとする者は所有者の許諾を受くるを要するの規定あるのみにして他に何等の制限なく現今の狀態にして推移せば數十百年の後は韓國の全土墳墓を以て蔽はるゝに至らん其の產業上衛生上に障害を及ぼす事多大にして現に墳墓の存するがため殖林其の他に附近の土地を利用せんとする場合其の目的を達する事能はざる事其の例少なからず此の際舊墳墓の整理をなすと共に將來に向つて此れが取締をなすの必要ありと某當局者は語り居れり

●森林原野に關する出願

森林法發布以來森林原野及び其の產物の利用に關し願書を農商工部に提出したるもの既に百數十件に上りたるが就中其の許否に付近々實查すべきものは左の如し

一、部分林設定願	三十四件
一、石材採取願	二十二件
一、雲母採取願	九件
一、礬石採取願	一件
一、玉石採取願	四件
一、土炭採取額	二十件
一、土地貸下願	二十三件
一、山林伐採願	四件
一、土地拂下願	五件

右は實地檢查をなしたる上出願者の資格を調査し法定の手續を了したる上許可せらるゝものにして其の共願者（同一の目的物に數人出願せるもの）なきものには大抵許可を與ふる筈なりと云ふ

●民團立女學校の現況

京城居留民團立高等女學校は本年三月民會の協贊を經て假校舍を南大門附近の地に建築し四月上旬に於て校長以下二三教員の任命あり今月廿日に到り略ぼ專任教員の任命を了し廿二日入學志願者八十六名に對して編入試驗を行ひ之を四學級に編成し二十五日入學式を擧行し廿七日より授業を開始せり爾來殘餘教員の任命をなし現在に於ては校長以下十四名書記一名合計職員十五名となれり之れにて全部職員の任命を了りたる都合なり而して生徒も其の後入學申込者續出し現在は九十一名に及べり此の外入學申込者にして病氣其の他事故のため出席せざるもの數名あり

今教員の受持學科を分類すれば

一、修身	校長之れを擔任す
二、國語	教諭一、助教諭一
三、歷史地理	教諭一
四、理科家事	助教諭一
五、數學	教諭一
六、裁縫	助教諭一
七、体操	教諭一
八、音樂	囑託教師一
九、圖畫	同一
十、英語	囑託教師一
十一、課外造花	囑託教師一
十二、附屬幼稚園	保母二

にして其の學歷別を示せば

一、帝國大學を卒業したる者一
二、女子高等師範學校を卒業したる者一
三、東京物理學校を卒業したる者一
四、文部省の中等教員檢定試驗に及第したる者三
五、東京音樂學校を卒業しる者一
六、東京美術學校を卒業したる者一
七、日本女子大學校を卒業したる者一
八、京都高等女學校專攻科を卒業したる者一
九、東京共立女子職業學校造花科卒業一
十、保姆の資格ある者二
十一、其の他一

是等教員の多くは內地に於て高等女學校或は中學校に現任中招聘したる者にして學校の設備は假建築なれば未だ不完全の點あれども教員組織に關しては相應に其の人を得たり而して是等の教員各專門の學科教授の任に當ると共に各學級の擔任又は副擔任となり學科以外生徒の個性開發指導の上に全力を注ぎ學校の規定せる訓練要目により各生徒平素の起居行動に綿密なる注意を拂ひ力めて個人的訓練法により生徒をして學術に偏せず浮華に染まず身体の發育に注意し品位あり常識あり貞操從順にして將來良妻賢母たるを得る婦人らしき婦人を養成すると共に海外に在りて優勝國民たる大和民族の女性を代表すべき內剛外柔の女性を涵養するに努め居れり

前述の個人的訓練は本校教育の主眼とする所にして先づ此等の基礎を作るべき生徒の入學に際し次の如き條項の下に生徒各自に就きて綿密なる調査をなせり

一、最も尊信する理想的人名
二、好む學科
三、嫌ふ學科
四、希望する業務
五、自覺せる良習慣
六、自覺せる惡習慣
七、好む娛樂
八、好む運動遊戲
九、課外讀み物及雜誌
十、好愛する事物
十一、憎惡する事物
十二、恐怖する事物
十三、嗜好する飲食物
十四、嫌忌する飲食物
十五、學業の外稽古しつゝある事物
十六、既往の主なる疾病
（未完）

●郵便物護衛

二十三日軍司令部に於て軍隊憲兵警察の各委員列席の上郵便物護衛に關する件に付會議の結果郵便物遞送を或る區域々々を各自擔當して護送することに決定せりと云ふ

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

△北靑守備區に於て賊魁洪範道己下を追擊の爲め甲山守備隊より出したる少尉己下二十は廿二日甲山西方於隱洞嶺西南約一里の地に於て約二百の賊と交戰其廿五を殪し銃器十八彈藥多數を鹵獲す我損害重傷四名あり△慶尙北道星州守備隊長巳下八名は五月十九日星州東南約三里半の龍溪に於て員數不明の賊を襲ひ其八を殪し若干を傷く△慶尙南道陝川守備隊より出したる三嘉分遣隊の上等兵己下五名は巡査一名と共に五月十二日陝川西方約四里に於て十八名の賊を討ち其四を殪す△慶尙南道蔚山守備隊より出したる上等兵己下五名は五月廿二日蔚山東方約三里に於て十餘名の賊を討ち三名を殪し我兵一名負傷す△慶尙北道慶州守備隊より出したる下士己下十名は五月廿日慶州南方約四里に於て員數不明の賊と遭遇し其十を殪す△慶尙北道知禮分遣隊長巳下の討伐隊は十七日茂典場東方約半里に於て賊二名を捕へたり△忠州守備隊より槐山に連絡の爲め出したる兵卒三名は十八日槐山郡內に於て約三十の賊と遭遇し之を四散せしめたり賊の死傷若干△全羅北道錦山憲兵分遣所長巳下四名は錦山東方一里半に於て五月十九日約廿の賊を討ち之を潰走せしめたり賊の死傷不明

●黃海賊魁の歸順

黃海道は是近賊徒の巢窟として多く世人の注目する所なりしが四月中二三の賊魁歸順以來賊勢大に衰へつゝあり折柄討伐軍隊の嚴重なる討伐に大に悟る所あり今回又亞將糧將李允源召募將吳弼元の二名去廿二日單獨歸順を申出るに至りたるを以て黃海道の南部は大体に於て賊徒の集影を認めざる迄に平穩に歸すべきを豫想するに至りぬ而して將を失へる彼等賊徒は北部に移動して其首魁たる李元洪の配下に逃竄せるの形跡ありと總大將たる有名なる辛景七は失踪して行衛不明となれり

●憲兵賊團を突破す

去る十七日高陽憲兵分遣所に於ては高陽郡求知道面湖近（高陽西南約二里）に賊徒集合し居る急報に接し之が搜索のため榊原上等兵以下二名に通譯を附し同夕刻分遣所を發し目的地の村端に至るや遙かに吹聲の頻りなるを以て殊に警戒をなし其方面を偵察せしに果せる哉約五六十名よりなれる賊團一隊の通過せるを認めしを以て各々身を潛め彼の動靜を確め居りしに既に我に向ひ一齊射擊を始め續て亂射甚きを以て我亦應射約三十分を要したりしも賊徒等は頑固に對抗するのみならず次第に肉迫し來る有樣なりしに依り最早猶豫すべきにあらざれは各自着劍榊原上等兵指揮の上に敵の主力に向ひ吶喊を試み茲に彼我の混戰數刻立ち處に賊魁以下十餘名を殪せしを以て賊勢頓に辟易逡巡支ふる能はず軍刀二振銃器八挺（內獵銃二）喇叭二個金五十餘圓其他雜品數十點を遺棄して四方に潰走せり此の接戰中賊魁洪今鐵の如きは大聲衆を督し軍刀を振り回し榊原上等兵に切て掛りし如き勇猛なりしを却て之を刺殺せしは正に賊團潰走の動機にして猪狩、赤尾兩上等兵並に金通譯亦協力事に當りしを以て意外の好果を納めたりと云ふ聊か舊聞に屬するも其處置機敏にして且勇敢なるは近來の快事たるを以て聞くがまゝを報す因に記す前記賊團は賊魁許蔿の配下にして昨年政變以來坡州、高陽附近に於て掠奪を擅にせしを以て爾來晝夜兼行之が搜索に努めたりしも毎度長蛇を逸し遺憾に堪へざりしが今回の大打擊を與へたりしは溜飲の下りし感ありと

●宮內官吏の運動會

李宮相以下日韓人宮內府官吏は去る二十四日午前十一時より慶熙宮內慶武台廣場に於て運動會を開催し旗取競走提灯競走自轉車競走其の他數番の競技ありて午後一時來會者一同食堂に入り食後再び競技を開始し午後六時散會せり來會者は李宮相小宮次官閔侍從院卿尹皇后太夫其の他二百餘名來賓として趙法相丸山總監出席せしが午餐の席上趙法相は一場の挨拶をなし且曰く余は宮內府に於ける日韓人官吏が斯程迄に相輯睦せるの事實を目睹するを得て余が平日想察せし程度以上なるを喜んで措かず此の輯睦は直接間接に兩國の友誼に資する事蓋し少なからざる可きは信じて疑はざる所なりと

●度支部官吏の茶話會

昨報度支部次官邸に於ける茶話會は廿五日午後二時開會し一同席定まるや高大臣荒井次官は一場の挨拶をなし會食後財源調查局よりの出品に係る天日製鹽場統計表食鹽煙草人蔘及び土地測量圖等を展覽し一同歡談數刻の后午後四時散會したるが來會者百餘名にして伊藤統監は鶴原總務長官石塚監查部長村田岩崎の兩武官古屋秘書官國分秘書官等を隨へ臨席せり

●法官養成所の運動會

同所にては來る二十九日午前七時三十分より昌德宮東隣なる成均館內に於て運動會を開く筈なり

●獨逸總領事の訪問

獨逸總領事は昨日統監府を訪問せり

●獨逸博士來韓

獨逸國プロフエツクル、ドクトル、ボケレヘイマー氏は西伯亞鐵道にて本邦へ赴く途次一昨日來京昨日出發したり

●公人私人

●土屋監督　京城大谷派本願寺布教監督土屋浩圓氏教務を帶び昨日出發京都に向ふ
△河西健次（大連病院長）　二十五日天眞樓へ投宿
△淸野長太郞（南滿州鐵道株式會社理事）　同上
△長谷川達海（第五十聯隊長）　同上
△中桐春太郞（內部技師）　二十五日巴城館へ投宿
△片山貞松（同上）　同上
△守田六男（韓國農商工部大邱林業事務所長）　二十五日三日月旅館へ投宿

●近事片々

▲初夏● 暑淡く綠蔭深し貴紳宴會の季節となり彼處に牡丹會開れ此處に茶話會開かる
▲何ぞ● 長閑なる紳士淑女盛裝して會に望む交際場裡の賑かさ實に天下泰平の瑞徵也
▲十年● 前に於る在留邦人とは雲泥の差豪懐の意氣頓に失せ唯其風俗頻に都び來れり
▲統監● 府設置以來吏僚の數多來ると共に殊に婦人の裝飾一變せり是祝すべきの徵乎
▲觀察● 使會議愈々開かれんとす其諸問事項を見るに到底滿足の答は得難からむと思ふ
▲地方● 行政組織改善に關する意見の如き今の觀察使に恰當の答を爲す者幾人かある
▲觀察● 使會同に幾何の利益ある不遠片々が苦言に首肯する時來らむ呀變たき事や
▲志賀● 氏氷藏庫奬勵は奇抜也鎭海灣の生鯛を日本橋の魚河岸に激瀨せしむとは快也
▲韓鯛● の刺身江戶の中央にて喰ふが如きは面白し當業家從て此計畫を成せ利亦多し
▲韓鯛● にして東京市民の膳に上ば鯛の剩身京城人の膳に上る需用供給の利茲にあり
▲桂侯● 內閣組織の野心有陸軍費三千萬圓の繰延をなし曾禰子をして副統監を退くと
▲曾禰● 子にして副統監を退く能はざれば淸浦奎吾藏相たるべしと早くも役割定まる
▲桂侯● の野心は强ち無根に非ざるべきも今取て換るが如きは慧巧なる桂は爲すまじ
▲白仁● 武民政長官たるや揚言して曰く滿鐵が我儘な事をなせば後藤に喰て掛らむと
▲斯る● 意氣ありてこそ始て後藤と並立するを得る也石塚君白仁に對し如何の感ある
▲統監● 府にも斯る意氣ある好漢あれかし唯々御前に拜跪するは帝國官吏の能に非ず
▲日英● 銀行頭取パーシバル實地視察の結果今を好機として日本への放資を決せりと
▲韓國● 起債も今が好機ならむ當局者茲に氣付かざるや優柔不斷は總てに於て失敗也
▲英帝● 露國訪問は大なる感激を以て迎へらるこれ情に英の外交勝利を意味せる所也
▲四日● 目例の小常陸奮勇して老巧の谷の川を突出して勝つ次の平の石との勝負如何
▲朝嵐● 大敵太刀山を倒す最初に太刀朝の咽喉を突き朝巧みに體を交し虛を衝て勝つ
▲千年● 川大關駒ヶ嶽を倒す而も高無双を切り土俵上に打仆せり千年の元氣愈々盛也
▲梅ケ● 谷と高見山は梅の体横に仆れ高に團扇上りしも高に踏込み有し爲め負となる
▲何ぞ● 當場所の番狂はせ多き好角家片唾を飲で前途勝賦に注目す其間喜憂交々至る

●關長局長の出發 既報の如く仁川宮木税關長及遠藤仁川郵便局長は於青島、牙山[illegible]艦へ昨日午後櫻井丸にて仁川を出帆せり

●雷風氏の名刀 目下滯京中の日比野雷風氏は過日岡崎中將の官邸に於て各將校に對し劍武を演じたる際同中將より名工の銘[illegible]

●關繁太郎氏の饗宴 數月來病氣中なりし關繁太郎氏は此程全く治癒したるを以て來る二十八日友人其他を招待して饗宴を張ると云ふ

●[illegible]氏の來[illegible] 韓國漫遊の爲め一昨夜入京し永樂町二丁目阿比留鉎作氏宅に假寓中なり

●山東丸の出港 郵船會社の北清命令航路船山東丸は一昨日仁川に入港し直に精米二千叺及山口縣[illegible]を乘せ昨晩大連に向け出帆したり

●岡山縣人會 本月三十一日龍山八景園に於て開催の筈なるが當日は國分拯事總長窪谷警視等も出席する由にて打網其他種々の[illegible]なるべしと尚同縣人にして出席希望は京城理事廳内田中永次郎氏に會費金三圓を添へ住所職業氏名を明記して申込むべしとなり

●天氣豫報（自廿六日午後六時至廿七日午後六時）
南又は東の風曇り少雨
韓國氣象概況
靜穩にして一般に曇天なり

特別廣告

告別

小生儀來る二十八日を以て出發歸東仕候に就ては一々參堂拜顔の榮を得度考に御座候處目下取込中にて其意を果し兼候に付乍略儀紙上にて御告別申上候也
追白大方各位に向つて數年に亘る御眷顧を謹謝仕候尚將來も不相變御交誼を玉はられ候樣願入候
五月二十五日
小田柿捨次郎

美人の行衛（三）
閑坊

日本語に巧みに、日本刀の詩を微吟する怪しき支那人の門をこそ彼の婦人は叩きたり

室内の少年は夫れと察して直ちに出でゝ門を開きぬ「川田さん、未だ起きてたの」優しく少年を劬はりつゝ室に入りたる婦人はツカ〳〵と火鉢の前に坐を占め

「オウ寒むかつた」

甘ゆる如き口調、美丈夫の顔をヂツと見る手は差出して火鉢の上にかざせしが夫れも少時、左高祖を除き顔に亂れかゝる後れ毛を靜かに搔きやりつゝ

「貴方矢張り駄目でしたわ」

年は廿三四、稍細面の、皮膚の光澤、極めて美くしく今迄温度低き室外にありたるに俄かに火氣強き火鉢に温りたる爲めか稍上氣して戀ならなくに顔は秋の紅葉の最と艶なり

「あのね金は幾何出しても否やだと云ふのでしよ、此の間とは大分態度が變に成つちまつたんですの、夫れに可笑しな事を云ふぢや無いですか最早警察が眼を注けて居るから此地ぢや駄目だなんて」

一寸眉の根に皮皺を寄せたるまゝ膝を乘り出して「貴方、妾にも一つ頂戴」言ひ乍ら美丈夫の前の盃を取る、生憎瓶子に酒は無かりき、少年は傍の大徳利より更らに酒を移して瓶子を鐵瓶に漬くる、彼れは美丈夫の從者なるなり

「奴も小膽者だね」

美丈夫は始めて口を開きぬ

「駄目とあらば仕方が無い、更らに第二の方法を講ずる迄だが横田も變な男ぢや無いか、何も官邊に恐れを抱かずとも宜いんだがね幾何かに扶持を貰つてれば先づ其麼もんだらうよ」

「警察が注目してると云へば些と面倒ですわね」

「馬鹿な警察もあるね、夫れぢやから折角此方は苦心して他の目に付かない樣にしてるぢや無いか、之れで澤山なのだ、此の上遠慮が出來る者か、何も泥棒や詐欺を働くぢや無い、國家の二字は大歐虎之助の腦裡から瞬時も離れた事は無い、併し事を未前に妨げらるゝは實に苦しい

[illegible]

未だ語る處あらんとす、少年は横合より瓶子を差出して二人の盃に滿々と注ぎながら

「先生銃器は手に入ら無いですか」

「騷ぐことは無い、手に入る方法がある、若し入ら無けりや無手でも宜いだらう」

呵々とばかり大笑しぬ

「關ひません豚尾だつて、鈍らの太刀を持つばかりですもの、裸だつて大丈夫なんです」

少年が熱心に語る時室外は尚、木枯し騷ぐなり

●黒田夫人の大怪我 老人亭に遊ぶものは其の邊りに於て黒田山莊と記されたる門標を見ることとならんが此の山莊の主人こそは黒田の太久馬の君と稱し佛蘭西通にして其の奥方は京城に名たゝる米國通なりけりされば來月七日愛國婦人會の慈善演藝會の催さるゝに就ても此の米國通は率先して周旋の勞を執らるゝことゝて一昨日も入場券賣付のためにヨボの人力車に召して東奔西走の折しも本町五丁目に於て向ふより來かゝる人力車と衝突し此方がヨボ丈けに突き負けて人力車をひつくり返し夫れが爲めに車上の黒田の委員は斗打つて轉び落ち左肩の骨を挫折し人事不省となりしより居合せし人々寄り集つて京城醫院に擔ひ込み治療を受けしめ其の趣電話を以て本宅に告げ知らすと本宅にてはまた小供が岸垣より落ちて負傷したりとて遣が佛蘭西通の主人も此の内外の出來事に今日はいかなる惡日かと大に當惑の體なりしとは左もあるべし

社告

集金掛 高坂一惠
同 今福利三郎

右社員をして廣告料及新聞代金受領方を取扱はしめ候間同人以外のものには決して御支拂被下間敷萬一御支拂有之候共一切無効に付此段謹告仕候也

四十一年五月
京城新報社
營業部

●小女を山中に誘ふ 一昨二十五日午後八時頃本町八丁目の田島賣藥店の下婢平尾ヤス（十五）が本町五丁目の赤門附近まで使ひに行き歸れる途中六丁目に於て立縞の和服を着たる二十一二の書生體の男がモシ〳〵と馴々しく寄り添ふて十錢現貨を手に渡し一寸呼び出して貰ひたき者あるにより新町まで往つて呉れまいかとのことに小供心に夫れはお安いことゝ受合ひ然らば其の家を教ふるにより自分に隨ひ來れとて六丁目を西へ大和町二丁目に出で三丁目より新町に至り第一樓支店の西方南山に向はんとする細山道に連れ行くより不審つゝ尚は五丁ばかり進みしも彌々以て怪しきより十錢を返して其の使を斷はらんといひしに男は立腹の體にて今少し來れ否といへば殺すぞと脅迫し口に手を當てゝ聲を立つることも能はざるやうに爲さんとする其の手を一生懸命にて振り拂ひ一目散に其の場を逃げ延びたりとて慄ひながら泣き叫びつゝ新町派出所へ訴ね出たるより居合の巡査は直ちに

景品付大賣出
一等金二百圓 景品總高金壹千圓也
二等以下略ス 店頭ニ掲載アリ空籤ナシ
現金掛賣共金五十錢毎ニ景品券一枚
五月十日ヨリ七月十五日迄
抽籤期日七月十六日弊店ニ於テ新聞社員及景品券持參ノ御方立會ノ上公平ニ施行仕候
和洋雜貨 文房具御 測量器械
京城本町一丁目（郵便局前）
シノサキ商店
電話六百四十八番

出張して其の邊を捜索せしも夫まで加害者が恐圖〳〵して居りもせず遂に見當らざりしと

●又々仁川の放火騷ぎ 仁川市中十數個所に放火をなしたる半狂亂上田重吉が仁川警察署の手に捕縛せられてより市民皆安堵の思ひをなし枕を高く寢に就かんとする一昨夜又龍岡町陸軍馬匹留置所に放火騷ぎのありたることそ奇怪至極なれ幸に未宵の口なりしを以て發火するや附近の者直に駈け付けて消し止めたるを以て大事に至らざりしが何にしても物騷千萬の事どもなり

●警察で眼が覺める 紅箭洞の車夫河元祖が去る二十五日の午後十時頃南大門外より一人の客を乘せ門内に來りて何れに行くべきかと問へど答へもせざるより車を卸して見れば前後不覺に酩酊し熟睡し居りて呼べど叫べど眼を覺まさず死人同樣なるに困り果て南部警察署へ連れ來れるより巡査が種々に手を盡くし漸くにこれを呼び覺まし取調べて見ると南山町三丁目の村上寫眞館に雇はれ居る向徳松（五十）なりと申立て車賃二十三錢を支拂はしめ將來を訓戒せられて放免

●開業早々營業禁止 太平町一丁目の中尾種次は去る二十四日に玉轉の遊戯場の許可を受け二十五日開業の準備未だ調ふか調はざるに本町七丁目の理髮職上野米五郎といふが來り五圓餘を敗けた爲めに臺に仕掛があつて詐欺的行爲があるに相違ないと巡査に檢査を賴みたるより賭博類似のことを爲すものと認められ昨日營業許可を取消されたり

新茶 着荷
富士の里茶舗
京城本町五丁目

●懸賞の時計を[illegible]む 水標橋西邊居住玉轉業大内田熊太郎は一昨日午后十時頃北署小安洞居住金文煥と云ふ韓人に料金を徵して玉轉しの遊戯をなさしめたるに金は見ン事懸賞の時計に當てたるが大内田は種々口實を設けて金に時計を渡さゞるより金は業を煮やし其旨大内田を同伴して銅峴分署に訴ね出でたるより詰合の警官相方を取調べたる上大内田の言條相立たず時計を金に渡さしめて事濟み

●狸の本體 熊本縣宇土郡三角村の者にて旭町一丁目の土木受負秋山組の國野吉次郎（三十）は二十五日の夜大和町二丁目の料理屋青雲亭に至り無一文にて散財し狸寢をして其の場をごまかさんとし其の儘本寢をなして巡査に呼び起して貰う始末となり樓主と示談の上洋服の上着と帽子とを飲食代一圓六十一錢の抵當に預けて行燈部屋の難を免がれたり

●青鬼の色事 近頃永登浦に出來た地獄に勤むる白鬼青鬼赤鬼等數多鬼のある中に一層角立つた青鬼あり此青鬼君曾て地獄の役宅に住はれし其手下なる釜炊きの竹とか松とか何とか云ふ夫婦者を同居せしめしが其釜炊きのおれ何と嬉び中となり地獄の釜炊きも中々忙はしければ一日隔き泊るのを幸ひに晝夜の痴話狂ひに人目を忍びて樂みしも何時しか手下の知る所となりしも青鬼の手下の悲しさには口に出してイザコザ云ふことも出來ず無念を忍びて自から或る家に移轉したは先日のことなるが扨て何は如何しても青鬼が戀しくてならず夫の宿直の日は朝夕青鬼の家に詰切り居るか又は青鬼が泊りに來るか夫れは〳〵怪からぬ中なれば先日の如き既に大騷動が出來たにも拘らず二人の中は切れること出來ず今に樂み居るとのことにて永登浦にては誰れも知らぬものなきに知らぬは亭主計りにて何れ近き内に一大騷動が持上るだらうと同地にて專らの評判

サッポロビール

●車夫の喧嘩 中署礡洞居住人力車挽子文景三（二六）蛤洞居住車夫全用澄（二十）の兩人は些細のことより仲間の金明植を毆打し負傷せしめたるを以て拘引されたり

●漢城病院患者 最近一日に於ける民間立外來患者は内科三十二人、外科六十五人、眼科二十四人、耳鼻咽喉科三十五人、婦人科二十六人、合計百九十二人、外來外人患者は外科五人、眼科二人、耳鼻咽喉科一人合計八人にして入院患者は内科四人、外科五人、眼科一人、耳鼻咽喉科二人、婦人科十一人合計二十三人内一等一人二等九人三等十四人外八入院者外科一人合計二十四人なり尚此外行旅病人として十四人あり

なりと云ふ

●牛豚屠殺數 東契門外なる日本人屠殺場に於ける四月中の牛豚屠殺數は左の如し
牛六十九頭
豚三百八十九頭

●屋外傳道 淨土宗開教院に於ては昨日より三日間中部管内の街路に於て傳道演說を行ふ由

●龜屋支店の開業 本町四丁目の龜屋にては今回本町一丁目に支店を開業し專ら洋酒洋食料品の販賣を主とする由なるが其の開業披露の爲め本日より三日間一般來客に對し生ビールを供するとなり

●銘酒勝本の賣出し 釜山今西酒店釀造の清酒勝本、四季の友は共に今西氏が苦心慘憺たる研究の餘に出でし韓國釀造唯一の銘酒にて品質の良好なるは優に内地産を凌ぎ好評嘖々たりと因に今西酒店は今回當地大和町二丁目へ支店を開設し一般顧客の需要に應ずと

●俗謡 吉崎
忘れさんした此半けちを渡して一言釘を打つ
みかけやさしい莢でさへも花で見せない刺がある

●盜賊 廿六日午前三時頃銅峴三十三統四戸鄭漢舖競賣所に泥棒忍び入り金縁眼鏡外數點價格九十四圓八十錢を盜み去りたり

●拾得 兩三日前東署管内に於て金二十圓入りの財布を拾得したるものあり東部警察署に保管しあるを以て遺し主は申出づべしとなり

●韓國に於ける麥稈買入所 京城在住日本人桐原恒三郎氏農商工部の援助を得て韓國各部の麥稈購入契約を結び本業に從事しつゝあれば盛んに麥稈の買入をなす由にて同氏は目下京城西大門外に京城麥稈眞田紐教習所を開設し從來韓國麥稈業の指導者たるべき韓人教師を養成しつゝありて本年度同教習所生徒を各地方に派遣し農家に就き大いに勸誘を試ましむる方針なりと余輩は本事業の發達して韓國の産物として主要の位置を占むるに至らん事を望む

家庭と衛生

○酒と防腐劑 サルチルサンやフォルマリンを酒の防腐劑として用ふることは一般の知悉する處であるが昇汞水を用ひる者あることは未だ知る人が少ない樣だ、併し之れは過ぐる卅三四年頃大阪堺西の宮等にて大分酒造業者の間に八ケ間敷かつた問題である、若し昇汞水を防腐劑として用ふることが無かつたらば何も同業者で騷ぐことは無い道理であるけれど騷ぎたるを見れば矢張り夫れを用ひることは判る、今も現に之を用ひる者がある決して油斷のなつた者で無い、酒は一體衛生上害ある者とは云へ一般の家庭から全然除く事の出來る者でないから飲酒家や來客等に供せんとする者は充分此の邊に注意する必要がある、昇汞水の入つて居る酒は多く輸入酒にある其の地方に出來る酒即ち地酒には先づ少ない者と云つてよからう

京城壽町二丁目
花屋旅館
（電話九一五番）



富士見樓
會席御料理
仕出し
京城本町八丁目

原金旅館
本店 仁川（電話三二）
支店 京城南山町（電話一〇七番）

廣告
丸 製造瓦販賣
並に御好に應じ普渡し可申候
京城旭町三丁目
橘 辰三郎
京城本町四丁目
小室支店

故 陸軍々醫總監從三位勳一等男爵醫學博士 松本順先生親傳秘方



專用 商標
發賣本舖 香川縣高松市 龜井金光堂謹製

ヨーマ○特効藥
亀井○之藥局
て地方より爲替若くは郵劵にて御注文の節は送料不要即時送藥▲はがきにて御注文あらば小包引換送藥す▲藥種相場表○諸賣藥卸賣歩合表郵劵二錢送付あれ郎送す

開店廣告
○銘酒 日の出 ○高麗花
○白味噌 ○赤味噌 ○三巴印醬油
○擦精白米
右品質精撰之上特別廉價ヲ以テ販賣仕候間多少ニ不拘御用命被仰付度願上候
女中いらす
京城本町壹丁目角 電話七五三番
三巴酒店

登錄商標



つけて二分間程たてば赤味を帶び白くなる水おしろい

定價 金十五錢 金十二錢

製造本舖 兵庫小物屋町 喜多商店
韓國一手發賣元 城本町一丁目郵便局前（電話四百十番）アイエス商會
取次販賣御申込に應じて其他の化粧品一切販賣仕候

大連安徽 頭彩 金壹萬圓 第三十一次（陰曆四月十日陽曆五月十日）開彩
湖北 頭彩 金五萬圓 第十八次（陰曆四月二十日陽曆五月廿日）
江南 頭彩 金壹萬圓 第七十六次 陰曆四月廿七日陽曆五月廿八日 開彩
第十七次 陰曆四月十五日陽曆五月十五日
確實發賣如遠隔地方御購求希望者御照會並寄留信料添附急速御用命通可附付不誤主顧
定價 大連彩票全紙金七圓 小切七拾五錢
江南彩票全紙金七圓五拾錢 小切八拾錢
安徽彩票全紙金壹圓參拾錢
西洋雜貨商 源源號
京城永樂町水標橋二宮街

謹告
西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶
六神丸特約販賣
但有名なる上海製造のものに御座候

廣告
今般時勢の進運に鑑み小兒科專攻の爲め一時歸朝す
京城嘗町 坂井病院長 坂井義明

醫院開設廣告
這般坂井病院の跡に於て一般患者の診療を開始す
五月一日
京城嘗町三丁目（元坂井病院跡）高井醫院院主
陸軍三等軍醫正從六位勳四等功五級 高井貞治

●精白米卸小賣●
石拔 一升二付 十七錢
白米 十六錢
一斗以上市內には出來速達 時別割引仕候
京城旭町一丁目
前田精米所
月 日
各位樣

鰻 蒲燒 小串一本 五錢
鯰 蒲燒 小串一本 金三錢
並に壽し
京城嘗町三丁目（公會堂前）
俵壽司

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
本店 京城嘗町（電話七三番）
營業所 南大門通三丁目（電話四〇番）
藤組

日本味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
漬物問屋 大上商店（電話二五一番）

疊製造業
開業御披露
迅速確實價格低廉
京城南大門通二丁目
御手洗幸助



御最負
御願申上ます
美芳廼內
喜代
十吉郎
初松
愛子
駒榮
町家の御求に可應旭町二丁目電話六百五十番



業務擴張
清酒 醬油
洋酒類 種々
瓶詰類 種々
名產 鑵詰類 種々
野菜果實其他
食料品一切
京城本町六丁目郵便局前
根來商店
二階貸間あり御望方は御來談あれ

提燈製造
並に印物一切
尾崎商店

竹堂

大阪豆腐
東京生揚げ
京都龍文堂製 鐵瓶及風爐
清水燒
迅速運送
三運送店
巴商店